

三年ぶりの吾妻神社大祭にて蹴鞠奉納

4月3日、吾妻神社大祭と蹴鞠（けまり）奉納が行われました。

御殿場は鎌倉時代には、源頼朝が神明宮にて蹴鞠をしたと伝わる蹴鞠ゆかりの地ともいわれています。

今年には御殿造営の命が下されてから四百周年を記念し、東京の千代田蹴鞠研究保存会の皆様が蹴鞠奉納を執り行いました。

蹴鞠のルールは、鹿皮を縫い合わせた鞠を蹴って蹴り手が「アリア」「ヤウ」「オウ」のかけ声とともに鞠を蹴り、落とさないようにする遊びで、「和を以て貴しとなす」の思想を重視し、勝ち負けはないそうです。

鞠人が鞠を囲むように車座となり、華麗な脚さばきにより、観覧者からは歓声があがりました。

なおこの蹴鞠は、8月7日(日)夕方、夏祭りの時に、新橋浅間神社にて、家康公御殿造営四百年祭の記念事業として、神社境内にて予定されています。観覧無料（雨天時、南小体育館）



整地された蹴鞠を行う鞠庭



報告祭



蹴鞠開始前



蹴鞠披露の様子



観覧者と蹴鞠体験